科目名	金融機関論 B　　Financial Institutions B						
科目担当者	藏屋 滉平　　KURAYA Kohei						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	第 2 次世界大戦後の世界経済は、1970 年代を境に成長から危機へと局面を大きく変化させてきた。そのような 1970 年代のフランスで保険商品の銀行窓口販売が開始された。日本の窓口販売が全面解禁されたのは 2000 年代に入ってからのことである。 人々の日常生活には、ケガ、病気、交通事故など多くのリスクがあり、そのリスクに備えるために社会保険と民間保険がある。本講義は民間保険に焦点をあて、これを学習することで金融機関の業務を正しく理解する。 今後迎える社会人生活において参考にしてほしい。 講義で扱う論点は繋がっているため欠席をせず受講してほしい。						
授業の到達目標	①保険を学習することでリスクとその対応方法について理解する。 ②保険のコンプライアンスについて学習することで、適切な販売の在り方を理解する。 ③保険の仕組みを理解することで、保険とは何かを理解する。						

授業計画・内容		
	1	金融機関とは
	2	リスクの処理技術
	3	保険制度全般について
	4	投資家保護に関する制度
	5	保険マーケットの最近の動向
	6	保険会社の破綻への対応（支払い補償制度）
	7	大数の法則・収支相当の原則
	8	保険料の構成と平準保険料
	9	剰余金・配当の仕組み
	10	配当タイプ別の保険
	11	約款と告知義務
	12	責任開始日（責任開始日とは何か、決定条件）
	13	保険料の払込方法（種類、払込期日と猶予期間）
	14	保険料の払込みが困難になった場合の対応手段
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	事前に配布した資料に目を通し、次回学習する内容のイメージを持っておく。また疑問点は調べておくこと。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎時間、配布資料とは別に授業内容を整理したノートを作成することが望ましい。 質問を歓迎する。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	100%	①②③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	資料を配布
参考文献	
その他	